

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		地域福祉計画管理事業	担当課	社会福祉課
総合計画	政策	ひと	計画期間	平成24年度～
	施策	地域福祉の推進	種別	任意の事務
	基本事業(取組)	地域福祉活動の活性化	市民協働	事業協力
予算科目コード	01-030101-13 単独	根拠法令・条例等	社会福祉法第107条	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>急速な少子高齢化や地域のつながりの希薄化、福祉ニーズの多様化により地域福祉の必要性が増し、社会福祉法に基づき平成23年度に「地域福祉計画」を策定した。</p> <p>併せて、市民の主体的な福祉活動の推進を図るため、社会福祉協議会において「地域福祉活動計画」が策定された。</p>	<p>地域福祉計画の適正な進行管理を行うために、施策担当課による進捗状況の現状把握・評価に基づき、庁内組織の地域福祉推進会議で、計画の現状確認や評価を行い、施策の推進方法について協議し、計画の推進を図る。</p> <p>また、地域福祉計画の円滑な推進を図るために「地域福祉推進委員会（委員19名）」を設置している。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らすことができるよう、市民が主役となって進める地域づくり、支え合いづくりに取り組むために、市民の福祉活動を支援する。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>市民の地域福祉に関する意識を高め、個人又は市民活動団体が地域福祉活動の担い手となるよう支援する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の実績（評価、課題への対応）
第2期計画の計画期間が令和3年度までとなるため、令和4年度から令和8年度を計画期間とする第3期守谷市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定を行った。	第2期計画の最終年度である令和3年度の実績について、地域福祉推進委員会を開催し、実績評価を報告するとともに、進捗が遅れている取組の課題解決に向けて協議を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
福祉活動で住民同士の交流や助け合いができていると思う市民の割合（％）	52.00	53.10	52.40	52.00	53.30	0.00	60.00
この1年間に地域福祉活動に参加した市民の割合（％）	19.60	20.70	21.80	19.60	20.50	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	令和4年度は市民アンケートの実施がなかったため、成果指標は把握できていない。しかし、コロナ禍であっても、まちづくり協議会において、イベントの開催方法を工夫（敬老行事：イベントの開催⇒記念品の配布のみ）しながら協働の取り組みが行われた。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	計画の円滑な推進を図るために、毎年度、計画の取組状況を的確に把握し、適正な評価を行うことで取り組みを確実に進めて行く。					

コストの推移						
項目	R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込	
事業費	計	694	1,782	77	195	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	694	1,546	0	0	0
	一般財源	0	236	77	195	0
正職員人工数（時間数）	1,203.00	1,192.00	200.00	0.00	0.00	
正職員人件費	4,870	4,612	771	0	0	
トータルコスト	5,564	6,394	848	195	0	

令和4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	民生委員児童委員活動支援事業	担当課	社会福祉課
総合計画	政策	ひと	計画期間
	施策	地域福祉の推進	昭和39年度～
	基本事業(取組)	地域福祉活動の活性化	種別
		市民協働	法定事務
予算科目コード	01-030101-06 補助	根拠法令・条例等	民生委員法, 児童福祉法, 守谷市民生委員推薦会規則

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>昭和23年に民生委員法が公布され、救貧活動だけではなく、地域の福祉増進のために幅広い活動を実施するようになった。この法律に基づき設置された地区民生委員児童委員協議会を助長するものであるため、この頃に事業を開始した。</p>	<p>民生委員児童委員は地域福祉の推進を図るために、厚生労働大臣が委嘱する奉仕者であり、市内を3地区に分け協議会をそれぞれ設置し活動している。この3地区の民生委員児童委員協議会を対象に補助金を交付する。</p> <p>守谷市では、南地区34名、中央地区30名、北地区31名の合計95名の民生委員児童委員が定員となっており、全地区で民生委員児童委員が委嘱されている。</p> <p>また、任期は令和4年11月30日までとなっており、令和4年12月1日から中央地区で1名増員され合計96名が令和7年11月30日までの任期で新たに委嘱される。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>援助を必要とする市民に対して、相談や助言、援助等に当たる民生委員児童委員の活動を支援する。委員の活動により社会福祉の増進に努め、社会奉仕の精神をもって市民が安心して暮らせるまちづくりを推進する。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>各種福祉施策の総合的な推進を図るため、多様な主体が行っている福祉活動が活発化するよう取り組む。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>援助を必要とする市民に対して、相談や助言、援助等に当たる民生委員児童委員の活動を支援するため、年間を通して研修会や勉強会等を開催し、委員の識見の向上を図る。</p> <p>これらの研修等により、委員が社会福祉の増進に努め、社会奉仕の精神をもって市民が安心して暮らせるまちづくりを推進している。</p>	<p>毎月行っている民生委員児童委員協議会の定例会での学習会実施の支援</p> <p>各種研修会の参加調整</p> <p>関連情報の提供</p> <p>令和4年4～5月 高齢者名簿作成</p> <p>6月 名簿閲覧提供</p> <p>一斉改選</p> <p>令和4年4月～6月 委員選定</p> <p>7月 推薦会</p> <p>12月 委嘱状伝達式</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>引き続き委員の活動における識見向上のため、研修会や勉強会を継続する。また、各担当地区の状況把握のため高齢化及びハイリスクである高齢者の名簿閲覧を提供し、地域の状況把握に努めてもらう。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度 of 取組（評価、課題への対応）
コロナ禍で、活動や相談対応に制限を受けたが、感染拡大防止に努めながら、可能な限り訪問を実施したり、定例会議を行った。 また、令和4年度の一斉改選に向けて、意向調査を行った。	コロナ禍で活動に制限を受けたが、感染拡大防止に努めながら地域での支援活動や定例会議等を実施した。 また、一斉改選に伴い、候補者の選定、推薦会の開催、新任委員への委嘱状の交付、研修会の開催等を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
民生委員児童委員の活動の延べ日数（日）	12,005.00	12,478.00	13,341.00	12,005.00	9,958.00	11,378.00	12,000.00
民生委員児童委員の相談述べ件数（件）	797.00	982.00	1,110.00	797.00	601.00	623.00	800.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	コロナ禍による活動の制限が緩和され、定例会や研修会が通常どおり開催できるようになるとともに、民生委員児童委員の各担当地域における活動についても、コロナ禍以前に戻りつつある。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	地域における民生委員児童委員の相談・支援活動が地域福祉推進において重要になっている。このため、定例会における勉強会や研修会を行うことにより、地域の課題対応に必要な委員の資質向上を支援していく。					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	9,802	9,325	9,927	9,495	9,500
	国・県支出金	10	0	10	10	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	9,792	9,325	9,917	9,485	9,500
正職員人工数（時間数）		1,931.00	1,535.00	3,200.00	2,000.00	2,000.00
正職員人件費		7,817	5,939	12,339	0	0
トータルコスト		17,619	15,264	22,266	9,495	9,500